

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年5月発行

今年の春は、真夏のように暑い日があるかと思えば、すごく寒かったりと寒暖差が激しかったです。5月に入って、さわやかな季節の始まりです。

先日、三重県総合文化センターを訪れたところ、色も大きさも様々な「鯉」約150匹が青空に元気に泳いでいました。はもりあスタッフも、この鯉のぼりのように元気いっぱいがんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。

若年層女性の回りで起きている暴力

暴力は、性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、女性に対する暴力は女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で重要な課題です。近年、10代から20代の若年層の女性の身の回りで起きている暴力が、問題になっています。ひとりで悩まず、相談できる場所があることを知ってもらえたらと思います。

アダルトビデオ出演強要

「タレント」や「モデル」などのスカウトを装って、契約を締結した途端、性的な行為のあるAV出演を強要され、「断る」と多額の違約金を請求されると言われ、出演せざるを得ないと思わされます。

JKビジネス

SNS等で「学校帰り・週1回でもOK!」「おしゃべりするだけ!」「時給もいい」等のバイト募集広告が、実際には服を脱ぐように言われ、写真を撮られたり、性的な行為を強要されたりすることを含むバイトだったりします。

デートレイプドラッグ

睡眠薬などのクスリを飲み物や食べ物に混ぜて、意識をもうろうとさせ、抵抗できない状況にして、性的な行為をされることです。

SNSで巻き込まれる犯罪やトラブル

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、インターネット上で社会的な繋がりを持つことができるサービスのことです。SNSを通じて巻き込まれる犯罪やトラブルの具体例として、ネットいじめ、プライバシーの侵害、悪意のあるなりすまし、誘拐、性的暴行があります。

デートDV

交際中の若いカップルの間で起こる暴力のことです。暴力は、「身体的」殴る、蹴る、モノを投げる、刃物で脅すなどで怖い思いをさせる。「精神的」ひどい言葉で傷つける、脅す、監視する、友達との交際を制限。無断でメールチェック。相手の大事なものを壊すなどのいやがらせ。「経済的」お金をたかる、借りたお金を返さない。「性的」キスやセックスを強要する、避妊しない。があります。

四日市市の取組

デートDV予防教育出前講座

平成22年から、支配関係のない対等な人間関係について学んでもらうために、市内の中・高・大学校等へ講師を派遣し、講座を行っています。

女性のための電話相談

☎059-354-8335

火～土曜日 9:00～16:00
水曜日のみ 18:30～20:30

相談窓口

警察

緊急時 ☎110
警察安全相談電話
☎#9110
☎059-224-9110
性犯罪被害相談電話
☎#8103
最寄りの警察署

よりこ

みえ性暴力被害者支援センター
☎059-253-4115

本の紹介

若年層の女性の背景を知る本を紹介します。

『漂流少女～夜の街に居場所を求めて～』

橋 ジュン著
太郎次郎社エディタス

『最下層女子校生～無関心社会の罪～』

橋 ジュン著
小学館新書

働く女性、働きたい女性のための無料相談窓口を開設しています。

キャリアコンサルタントがお聞きします。
(1回50分までの個別相談)

【対象】市内在住、通勤、通学している女性

【場所】四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」

お電話またはメールにてお申込みください。

株式会社O-GOE

電話 059-329-6662 (平日9時~12時 13時~17時)

メール support@miejo.net (終日)

※氏名、電話番号、希望日時をお伝えください。

★予約優先です。

★無料託児あり：希望される方は、申込み時にお伝えください。

★相談事業のお問合せは「はもりあ四日市」までお願いします。

★昨年度と電話番号、メールアドレスが変わっています。ご注意ください。

本事業は、四日市市が株式会社O-GOEに委託し、運営されています。



開催日は月2回。

第2土曜日 9時~13時

第4水曜日 16時~20時

(ただし8月は第1土曜日)

【開催日時】

9時~13時	16時~20時
4/14(土)	4/25(水)
5/12(土)	5/23(水)
6/9(土)	6/27(水)
7/14(土)	7/25(水)
8/4(土)	8/22(水)
9/8(土)	9/26(水)
10/13(土)	10/24(水)
11/10(土)	11/28(水)
12/8(土)	12/26(水)
1/12(土)	1/23(水)
2/9(土)	2/27(水)
3/9(土)	3/27(水)

地域出前講座
in川島地区

「あなたの言葉伝わっていますか？」 ~男女共同参画の視点からコミュニケーションを考える~

4月18日(水)に川島地区おしゃべり女子会主催の、『第1回よってたかっておしゃべり女子会』が開催されました。前半は男女共同参画課前課長から、「毎日の生活の中、夫婦や家族とのちょっとした会話のなかには何か気持ちのズレを感じ、イライラしたりすることがあると思います。これは、結婚や家庭・子育て等に対する男性と女性の意識の違いから起こるのでは？」というお話を、市民意識調査の結果を交えて行いました。

後半は、2班に分かれてのおしゃべりタイム。家事の分担や育児のこと、仕事と育児を両立できる環境にはまだまだなっていないこと、育児休暇という制度があっても男性は取得しにくいことなど、いろいろなお話で盛り上がりました。

「あれっ、おかしいよなあ」「どう考えたらいいの」と日頃思っていることを話すことで、共感したり、気づいたりできる楽しいおしゃべり女子会でした。



【講座の様子】

報告

男性向け健康講座 働きながら健康づくりを実施しました!

20代~50代の現役世代の男性を対象に、男女共同参画について知っていただくとともに、男性にも「更年期」があるということや、「健康づくり」のために運動を継続する必要性を知り、生涯を通じた「健康保持」を考えるための実技を交えた講座です。

初めに、市の健康づくり課職員から「更年期について」、男女共同参画課職員から「男女共同参画について」のプチ講座をしました。

続いて、講師に健康運動指導士でオリンピックスポーツクラブのチーフトレーナーの田中 吾郎(たなかごろう)さんを迎え、アンチエイジング効果のあるストレッチを中心の実技を体験しました。

今後もいろいろな切り口から、男女共同参画を考えてもらうため様々な企画をしていきます。ぜひご参加いただき、一緒に考えましょう!



【講座の様子】

“人と人とのよりよい関係”をつくるために

男女平等教育 デートDV予防教育 出前講座を行っています。

ジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)の視点を学び、ありのままの自分や他者を受容・表現することや、多様な生き方を尊重し対等な関係を築く力を育むことを目的に、より多くの場で学んでもらうため、出前講座を行っています。講師には、四日市人権擁護委員協議会(会長：上野尚子さん)やほりあ登録団体の「はあく」の皆さん、認定ファシリテーター等をお願いしています。

平成29年度出前講座実績

実施校・園・他	数	講座数	受講人数
高校	4校	4	623
中学校	4校	4	507
小学校	12校	30	874
保育園	9園	9	546
幼稚園	6園	6	385
学童保育所	3カ所	3	110
保護者・教員	8カ所	8	622
	46	64	3,667

●●●●●●●●平成29年度受講者の感想●●●●●●●●

◆中学生 対象講座では…

- ・デートDVのことを初めて知り、こわいなと思った。
- ・暴力は、ただの自己満足や自分勝手のためであって、愛情では絶対ないと思いました。
- ・一番心に残ったのは、人に相談することの大切さです。
- ・劇があったので、わかりやすかった。

◆高校生 対象講座では…

- ・男女で交際するのは自由だが、ちゃんと話し合いや互いの気持ちをわかりあっていけなかついけないと思った。
- ・どんなことがあっても、暴力はやってはいけないということがよくわかった。
- ・こういう問題の被害者を減らすには、社会の男女格差をなくすことも大切だと思った。

今年度も引き続き、出前講座をしていきます。

今日のキーワード

フレリーマン

育児に参画する男性「イクメン」が増え、働き方改革が進められている現代で、仕事が早く終わっているのに、まっすぐ家に帰らず、つかの間の息抜きを求める家族持ちの男性会社員、「フレリーマン」が、「ワンオペ育児※」の対極として話題になっています。

男女共同参画の視点から「フレリーマン」の背景として、「早く帰ると、逆に足手まといになりそう」という夫側の声に「家事・育児は女性がするもの」という、性別で役割を分担する固定的役割分担意識があるのではと考えます。

働き方改革は、女性も男性も仕事を両立させて働ける社会を目指し、長時間残業せず効率よく仕事を行い、夫婦で家事育児を適切に分担して、子育てをしていくことも一つの目的です。

「フレリーマン」を生み出さない夫婦になるために、「退社してからの家族の時間を、夫婦でどのように使うか」「お互いのやってほしいこと」などのルールをしっかりと話し合い、共有することが大切と言われています。

※ワンオペ育児：家事育児のすべてを、母親ひとりでこなさないといけない状態をいう。

男女共同

さんかくeye

このコーナーでは、ほりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

大相撲の春巡業で、土俵の上で倒れた市長の救命を行った女性に対して土俵から降りる様にアナウンスされたことから、「女人禁制」の問題が大きく取り上げられました。相撲は神道と密接な関わりがあるとされ、女性を土俵に上げないことを「伝統」としてはいますが、調べてみると、相撲の歴史は日本書紀に女相撲が登場するほど古いですが、相撲自体に女人禁制はありませんでした。この様になったのは、明治時代からだそうです。「女人禁制」になった背景には、その時代の政治的なことや相撲を神聖化し地位を高めたい思惑があったようです。伝統を大切に、守ることは良いことだと思います。しかし、「土俵は神聖な領域」という発想



の中に、男性は神聖な場所にふさわしく、女性はふさわしくないという「扱い差」を設けるなら、女性差別を正当化していると思うので、この問題を「伝統」と言う言葉で終わらせず、考えていきたいと思っています。

【力士の鬢付け油はいい香りだと思う担当:M】

登録グループイベント情報

い~い~よお~につながる母乳育児 ~妊婦編~ 〈主催〉 私もアナタもい~い~よお~の会

母乳ってみんなでるの？妊娠中にマッサージとかしなかったら出ないの？等々・・・。
妊娠中に知っておきたい！知ってて良かった！楽しいいよお~ってなる母乳育児の準備のお手伝い
します。

日時：平成30年5月17日（木）10時～11時（受付9：45～）

場所：本町プラザ3階 はもりあ四日市 こどものへや

料金：500円（当日）

申込先：私もアナタもい~い~よお~の会

TEL：080-6927-2039

（電話に出れないことがありますので基本的にメールでお申し込みください）

メール：waiyo@ezweb.ne.jp

① 名前フルネーム（フリガナ） ②当日の連絡先 をメールしてください



図書コーナーに新しく入った本

色々な角度から男女共同参画を視ていただくため、
さまざまなジャンルの本を揃えています。

『母・娘・祖母が共存するために』

信田さよ子／著

それでも母が重たい娘たち、団塊女性の母であることの困難、存在感を増す祖母娘・母・祖母の3世代と家族を射程に入れて解決の方向性をさぐる、母娘問題の第1人者による力作

『母さん、ごめん。50代独身男の介護奮闘記』

松浦晋也／著

男性、50代、きままな独身、実家に母と同居。ところが、人生を謳歌していた母親が認知症に。合理的かつ論理的な世界で働いてきた筆者が思い知るのは「“男の子”が母の介護を行うことの難しさ」だった。

『ふたりは同時に親になる』

産後の「ずれ」の処方箋』

狩野さやか／著

「あきらめママ」「無関係パパ」はもう卒業！ママの不機嫌ループを断ち切るために、パパができる小さな一歩を解説！

『誰にも頼れない女の』

お金の守り方』

小山智子／著

大丈夫！あなたはひとりでもやっていける。知識ゼロから学ぶ、絶対に「損」をしない40の智慧

『ワンオペ育児』

わかってほしい休めない日常』

藤田結子／著

「私たち、もうヘトヘトなんですけど！」
「仕事も育児も100%」の限界朝から晩まで働きつめの母親たちの実情に迫る。

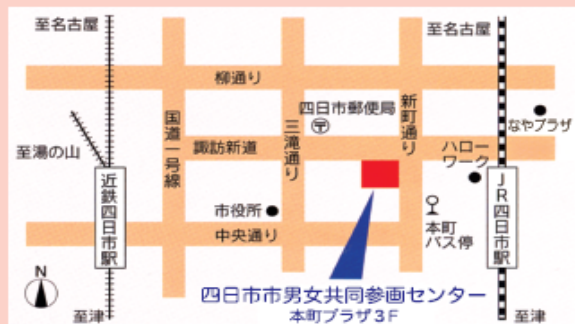
図書の貸し出し期間

★新刊は2週間

★新刊以外は1カ月間

○●◎あとがき◎●○

新緑が美しい5月は、大型連休から始まる月で、各地でイベントや伝統の行事等が盛大に開催されています。また、進学や就職、転勤などで4月から生活環境が変わられた方にとっては、やっと新しい生活に慣れ始める頃でもあります。私は、新緑と花を求めてせっせと山に登りたいと思いますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9：00～PM9：00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml